

# **新山口駅北口駅前広場植栽管理業務**

## **植栽管理マニュアル**

**山口市 都市整備部 南部土木事務所**

## 目 次

1. 樹木管理	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 年間工程	・ ・ ・ ・ ・	1
3. 管理内容		1
1) 剪定	・ ・ ・ ・ ・	1
2) 水やり	・ ・ ・ ・ ・	1
3) 施肥	・ ・ ・ ・ ・	1
4) 病虫害防除	・ ・ ・ ・ ・	1
5) 植替え	・ ・ ・ ・ ・	1
6) 枯損木・支障木処理	・ ・ ・ ・ ・	2
7) 支柱取り換え・撤去	・ ・ ・ ・ ・	2
8) 除草	・ ・ ・ ・ ・	2
4. 特記事項	・ ・ ・ ・ ・	3
5. 低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項		

## 1. 樹木管理

### 目的

- ・ 樹木の植栽目的に沿って、樹種ごとの特性を活かしながら、樹形を形成していく必要がある。
- ・ 植物の成長を、専門的な観点から観察し、剪定、水やり、施肥、植替え作業によって、景観を維持、整形していく。

## 2. 年間工程

別紙工程表に記載

## 3. 管理内容

### 1) 剪定

高木	夏期剪定	・ 樹冠の整正、混みすぎによる枯損枝の発生防止を目的として切詰め、枝透かし、剪定を行う。
	冬期剪定	・ 修景および管理上、自然樹形に仕立てる。 ・ 腐れや不定芽の発生原因となる「ぶつ切り」は行わない。
低木	夏期・冬期剪定	・ 寄植え、萌芽力の強いイヌツゲ、マメツゲ、ハマヒサカキ等は刈込みにより、一定の形を整える。 ・ 修景および管理上、花期等に考慮し、全体の姿を整理する。
地被	冬期剪定	・ 冬期に落葉する物の枯枝葉を、適宜剪定撤去をする。

### 2) 水やり

- ・ 1階駐車場周りの手動灌水設備があるものについては、下記表の通り。

春～初夏	・ 毎日1～2時間
盛夏～	・ 毎日3時間
秋	・ 毎日1～2時間
冬～	・ 週1～2回程度、様子を見て行う。

- ・ 自動灌水設備の無い箇所については、樹木の状態をよく観察し、適宜行う。
- ・ R階については、植物の状態を定期的に観察し、降雨の状況などを鑑みつつ、灌水頻度が最適になるように定期的(年2回程度)に灌水スケジュールを調整するのが望ましい。
- ・ 壁面緑化(ピクセルポット)については、育成状況によって調整する。

### 3) 施肥

元肥	12月～2月	・ 高木 樹の足元に溝を輪状に掘り、施肥する。 ・ 低木 葉に肥料が乗らないように、植物の足元に施肥する。 ・ 有機物肥料(油かす)を使用する。
追肥	4月～6月 及び11月	・ 高木 樹の足元に輪状に施肥する。 ・ 低木 葉に肥料が乗らないように、植物の足元に施肥する。 ・ 化成肥料を使用する。

### 4) 病虫害防除

- ・ 発生時期が4～10月に集中するが、発生状況をよく観察し、発生初期に行う。
- ・ スポットごとの散布も、必要に応じて行う。
- ・ 防除方法は下記表の通り。

薬剤散布	・ 駅前広場という敷地条件から、作業は早朝の時間帯に行う。
剪定切除	・ 被害の出た枝葉を、剪定もしくは切除する。
捕殺	・ 捕虫器等を用いて、捕獲、駆除を行う。

### 5) 植替え

- ・ 基本的に植替えの適期は、真夏を除いた時期に行う。
- ・ 枯れた状況等を調査して、土壤に問題があるなど、特殊な理由の場合は、検討し対処する。

高木	・ 何らかの原因で枯れた場合には、植替えが必要となる。 ・ 枝枯れの場合は、落下により、通行人等に危害がおよぶことが考えられるため、早めに対処する必要がある。
中低木	・ 全体的に枯れた場合には、植替えが必要になる。 ・ 局所的に枯れた場合には、景観的に影響の出る場合には植替えが必要になる。
地被	・ 地被に関して、自由通路の壁面緑化と同種が用いられており、自由通路と同様、育成状況を確認し、環境適性を見極め、場合によって、樹種の変更も検討する。

## 6) 枯損木・支障木処理

- ・ 枯損木、支障木は、事故発生の危険性や、通行人の妨げになる可能性があるため、早期に対処する必要がある。
- ・ 枯損木については、伐採後の植替えを検討する必要がある。

## 7) 支柱取り換え・撤去

- ・ 地下支柱に関して、原則、根が活着するまでは必要である。
- ・ 支柱は、最終的に撤去を目指すものと考え、樹木の成長を専門的な観点から判断してその必要性を検討していく。  
例として、樹木の成長に伴い、支柱材(ワイヤー等)が、根元幹に食い込む恐れがあることや、逆に撤去作業により、根茎を傷つけ、樹木の成長を妨げることがある。
- ・ 地下支柱の撤去方法は、下記表の通り。

R 階	・ 植物の活着状況、安定性などを目視点検した上、ジオテキスタイル応用地下支柱に使用されているPPバンドをカットすることが望ましい。
1 階	・ 根鉢上部の土壌を軽く掘り、露出したバンド、ワイヤーを切除する。 ・ 構造上、ひき抜きは出来ないため、可能な限りの切除を行う。 ・ 支柱全体を撤去する場合は、根茎を傷めるため、部分ごと(杭ごと)に、隔年で、発根させながら撤去を進めていく。
	・ R階、1階ともに、樹木の状態を専門的に観察し、管理方針を定める。

- ・ オゴオリザクラの八掛け支柱については、根の活着により、台風時の倒木の恐れが無くなるまでは必要である。移植した3本のオゴオリザクラは根の状態が悪く、長期において支柱による支持が必要と思われる。  
支柱材が腐朽する4~5年は、結束を更新しながら維持していく。また、定期的な調査で樹木の状態を診断し、支柱の撤去、更新を検討する必要がある。

## 8) 除草

- ・ マルチング材の間から、雑草の発生が考えられ、根から除去する必要がある。
- ・ 夏場においては、雑草の発生が旺盛になるため、より管理頻度をあげて対処する。
- ・ 除草により、灌水設備や植栽されている植物に影響が生じないように、注意して作業をする。

#### 4. 特記事項

シマトネリコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に強剪定は避け、特に冬期の強剪定は樹木の枯を引き起こす原因になりかねないので、注意する。</li> <li>・施設設備(信号機等)に影響のする枝は、協議のもと、適切に剪定、撤去を行う。</li> </ul>
高木全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過度な切り詰めや、枝先に切り口を集中させると、樹形の著しい乱れ、急激な成長、減退を引き起こすため、それを避けるよう剪定する。</li> <li>・下枝は、歩行者の障害にならない程度で、なるべく生かして剪定する。</li> <li>・直径5cm以上の切り口や、何らかの要因でできた傷口は、癒合材等で保護する。(トップジン等)</li> </ul>
中低木全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈り込み剪定を基本とするが、樹種特性、景観上の理由で、剪定方法を決めて作業を行う。</li> <li>・花の咲く樹種は、花期に応じた細かい管理が必要となる。</li> </ul>
オゴオリザクラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移植の際、極度に樹盛が弱まっていることが確認されているため、慎重な管理の必要がある。</li> </ul>
工程管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工程に関しては、担当者と協議のもと、適切に決定する。</li> </ul>
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業中、利用者と交錯することが予想されるため、十分に注意して作業をする。また、予め事故の発生が考えられる場合は、誘導員や、保安施設により、安全を確保する。</li> <li>・その他気付いた点は、担当者と協議のうえ作業、対処していく。</li> </ul>

年間工程表

月 作業内容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		1 30	1 31	1 30	1 31	1 31	1 30	1 31	1 30	1 31	1 31	1 28	1 31
1) 剪定	夏期												
	冬期												
2) 水やり													
3) 施肥													
4) 病虫害防除													
5) 植替え													
6) 枯損木 支障木処理													
7) 支柱取り換え 撤去													
8) 除草													

# 新山口駅北口駅前広場施設整備に伴う機械設備工事

交番壁面・外構／グランドプラザ屋上／0番線屋上 散水スケジュール

H30.4.21現在

## 【交番ー外構エリア】 90分／回

コントローラー : 1階 階段下機械室						DS1-K(1ch)
開始日		終了日	散水曜日	開始時刻		終了時刻
3月16日	～	6月15日	月・木	7:00	～	8:30
6月16日	～	9月30日	毎日	5:00	～	6:30
10月1日	～	11月30日	月・木	7:00	～	8:30
12月1日	～	3月15日	月	10:00	～	11:30

## 【交番ー壁面エリア】 60分／回

コントローラー : 3階 EPS						DS1-K(1ch)
開始日		終了日	散水曜日	開始時刻		終了時刻
3月16日	～	6月15日	月・木	6:00	～	7:00
6月16日	～	9月30日	月・水・金	4:00	～	5:00
10月1日	～	11月30日	月・木	6:00	～	7:00
12月1日	～	3月15日	月	9:00	～	10:00

3階 屋上植栽 60分／回

コントローラー : 3階 EPS

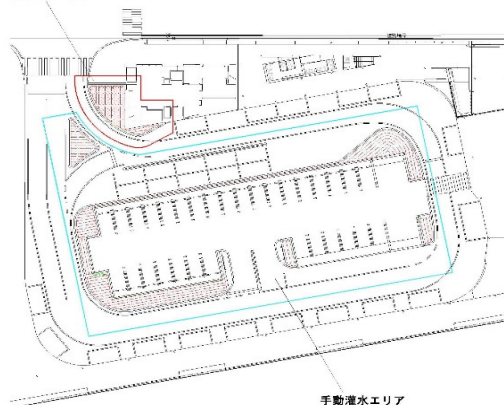
## 【0番線ー屋上エリア】

スイッチ【1】						DS2-K(2ch)
開始日		終了日	散水曜日	開始時刻		終了時刻
3月16日	～	6月15日	月・木	7:00	～	8:00
6月16日	～	9月30日	月・水・金	5:00	～	6:00
10月1日	～	11月30日	月・木	7:00	～	8:00
12月1日	～	3月15日	月・木	10:00	～	11:00

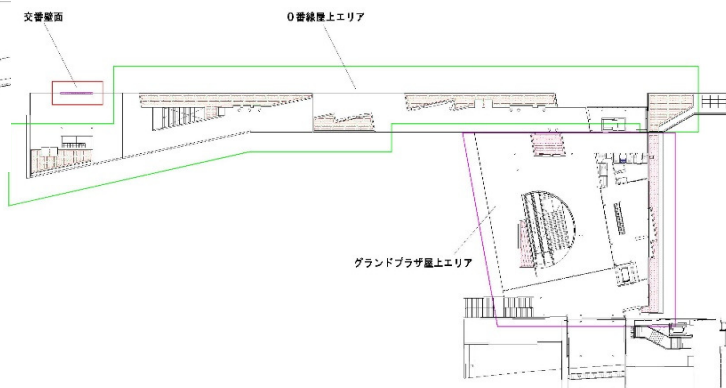
## 【グランドプラザー屋上エリア】

スイッチ【2】						DS2-K(2ch)
開始日		終了日	散水曜日	開始時刻		終了時刻
3月16日	～	6月15日	月・木	8:00	～	9:00
6月16日	～	9月30日	月・水・金	6:00	～	7:00
10月1日	～	11月30日	月・木	8:00	～	9:00
12月1日	～	3月15日	月・木	11:00	～	12:00

交番外構エリア

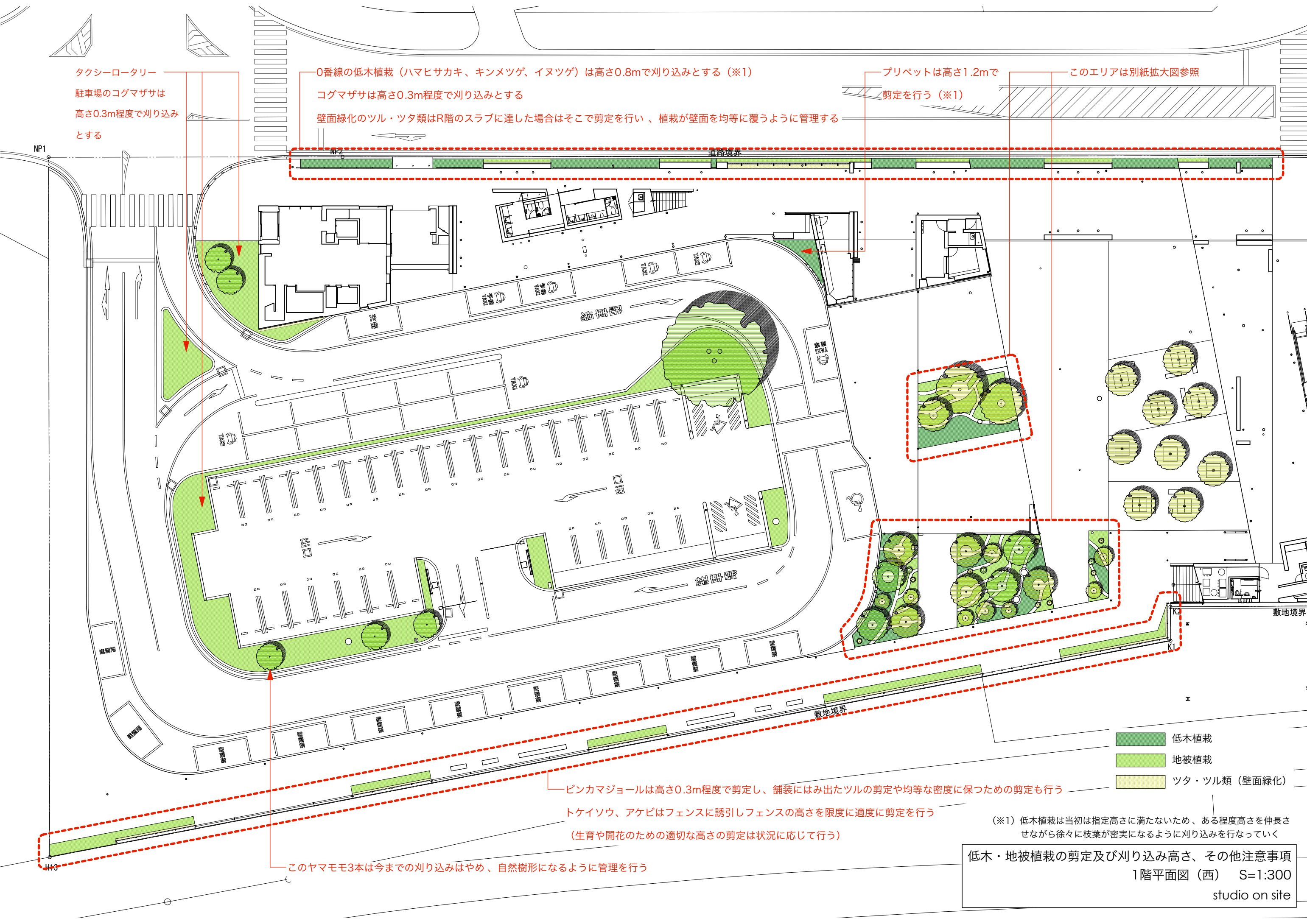


手動灌水エリア



しあわせ環境クリエイター

東邦レオ株式会社



タクシーロータリー  
駐車場のコグマザサは  
高さ0.3m程度で刈り込み  
とする

0番線の低木植栽（ハマヒサカキ、キンメツゲ、イヌツゲ）は高さ0.8mで刈り込みとする（※1）  
コグマザサは高さ0.3m程度で刈り込みとする  
壁面緑化のツル・ツタ類はR階のスラブに達した場合はそこで剪定を行い、植栽が壁面を均等に覆うように管理する

プリペットは高さ1.2mで  
剪定を行う（※1）  
このエリアは別紙拡大図参照

ピンカマジョールは高さ0.3m程度で剪定し、舗装にはみ出たツルの剪定や均等な密度に保つための剪定も行う  
トケイソウ、アケビはフェンスに誘引しフェンスの高さを限度に適度に剪定を行う  
（生育や開花のための適切な高さの剪定は状況に応じて行う）

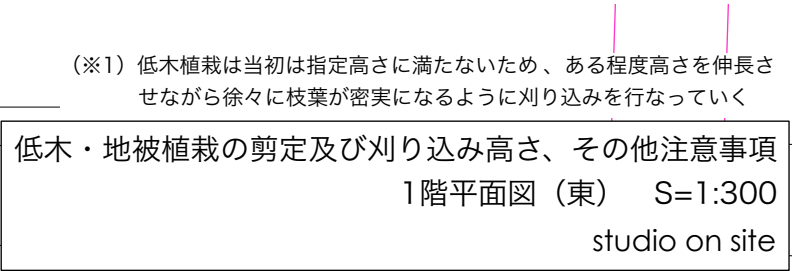
このヤマモモ3本は今までの刈り込みはやめ、自然樹形になるように管理を行う

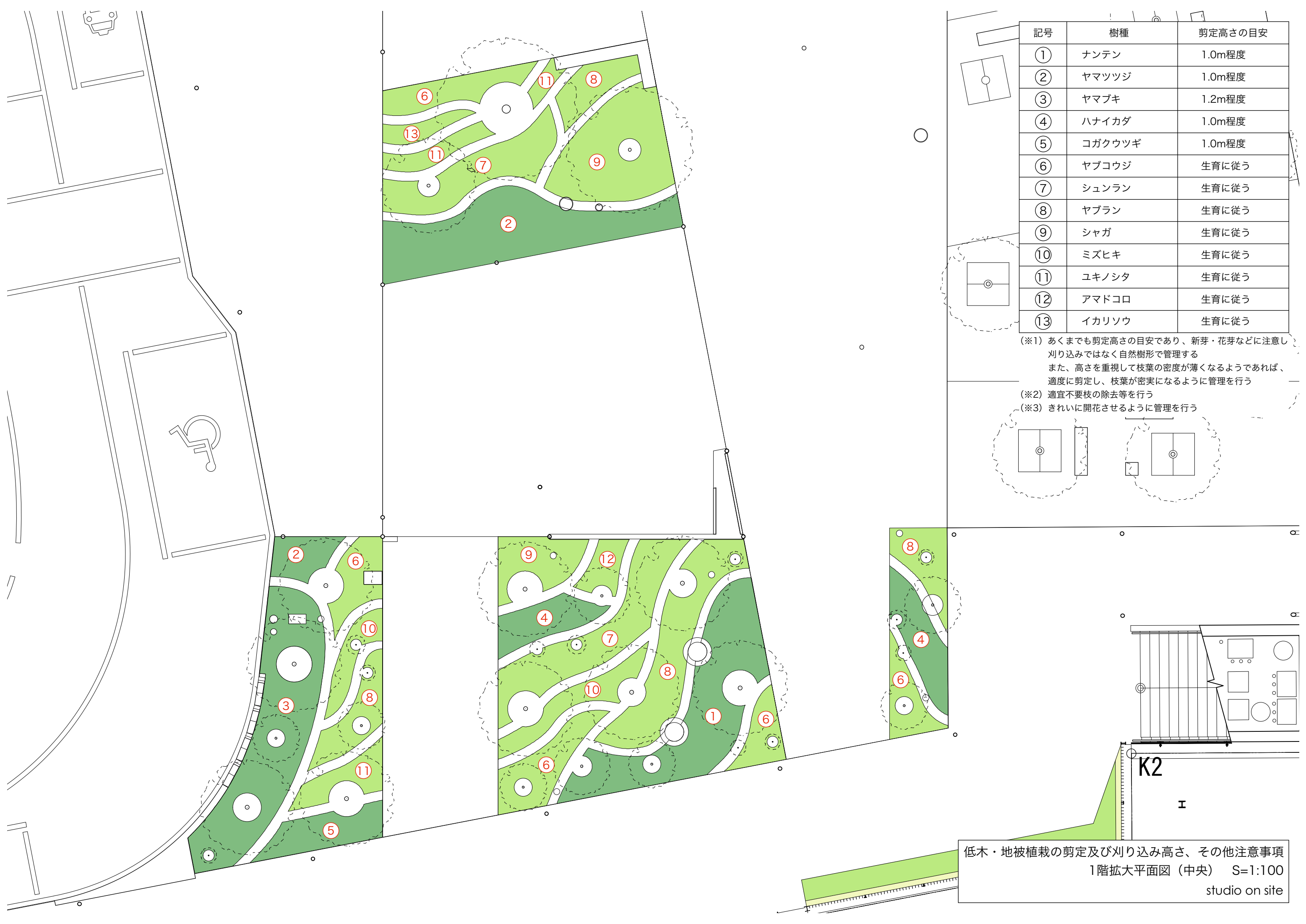
- 低木植栽
- 地被植栽
- ツタ・ツル類（壁面緑化）

（※1）低木植栽は当初は指定高さに満たないため、ある程度高さを伸長させながら徐々に枝葉が密実になるように刈り込みを行っていく

低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項  
1階平面図（西） S=1:300  
studio on site





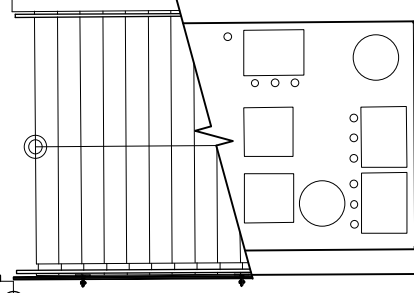
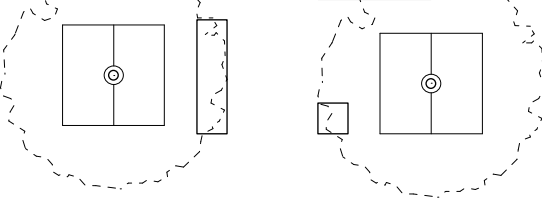


記号	樹種	剪定高さの目安
①	ナンテン	1.0m程度
②	ヤマツツジ	1.0m程度
③	ヤマブキ	1.2m程度
④	ハナイカダ	1.0m程度
⑤	コガクウツギ	1.0m程度
⑥	ヤブコウジ	生育に従う
⑦	シュンラン	生育に従う
⑧	ヤブラン	生育に従う
⑨	シャガ	生育に従う
⑩	ミズヒキ	生育に従う
⑪	ユキノシタ	生育に従う
⑫	アマドコロ	生育に従う
⑬	イカリソウ	生育に従う

(※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し  
刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、  
適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う

(※2) 適宜不要枝の除去等を行う

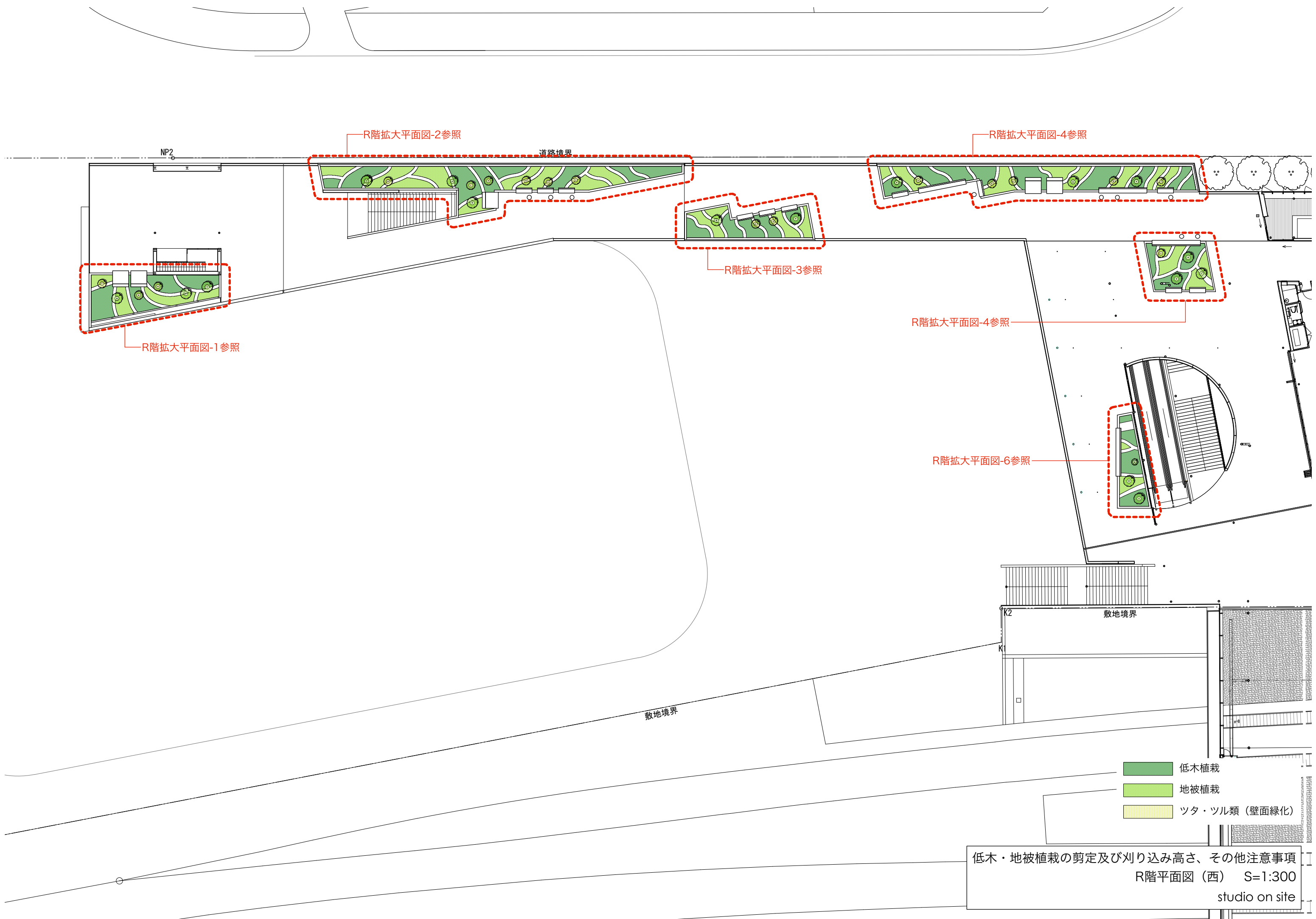
(※3) きれいに開花させるように管理を行う



K2

I

低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項  
1階拡大平面図（中央） S=1:100  
studio on site



R階拡大平面図-2参照

道路境界

R階拡大平面図-4参照

NP2

R階拡大平面図-1 参照

R階拡大平面図-3参照

R階拡大平面図-4参照

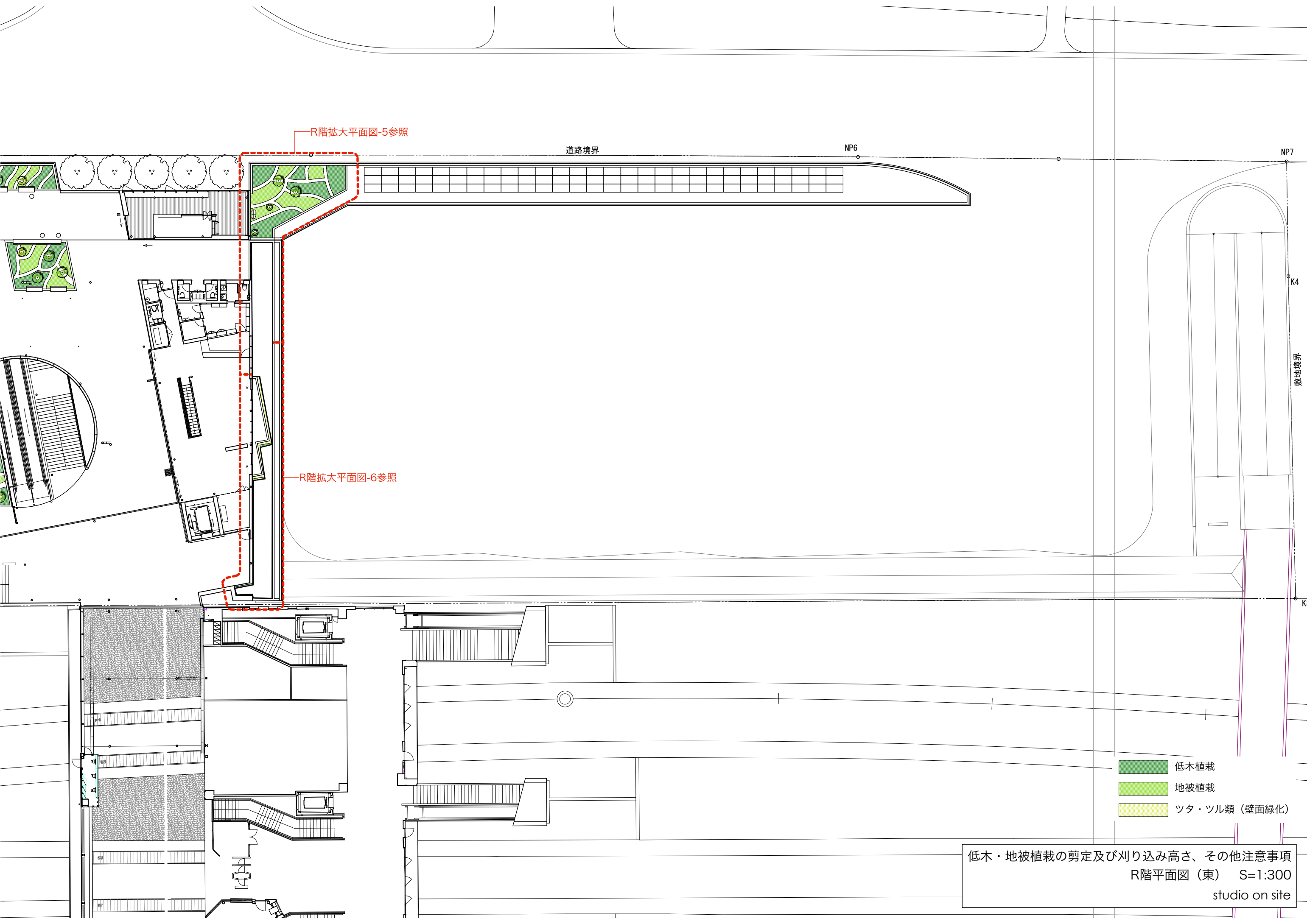
R階拡大平面図-6参照

敷地境界

敷地境界

- 低木植栽
- 地被植栽
- ツタ・ツル類 (壁面緑化)

低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項  
R階平面図 (西) S=1:300  
studio on site



R階拡大平面図-5参照

道路境界

NP6

NP7

敷地境界

K

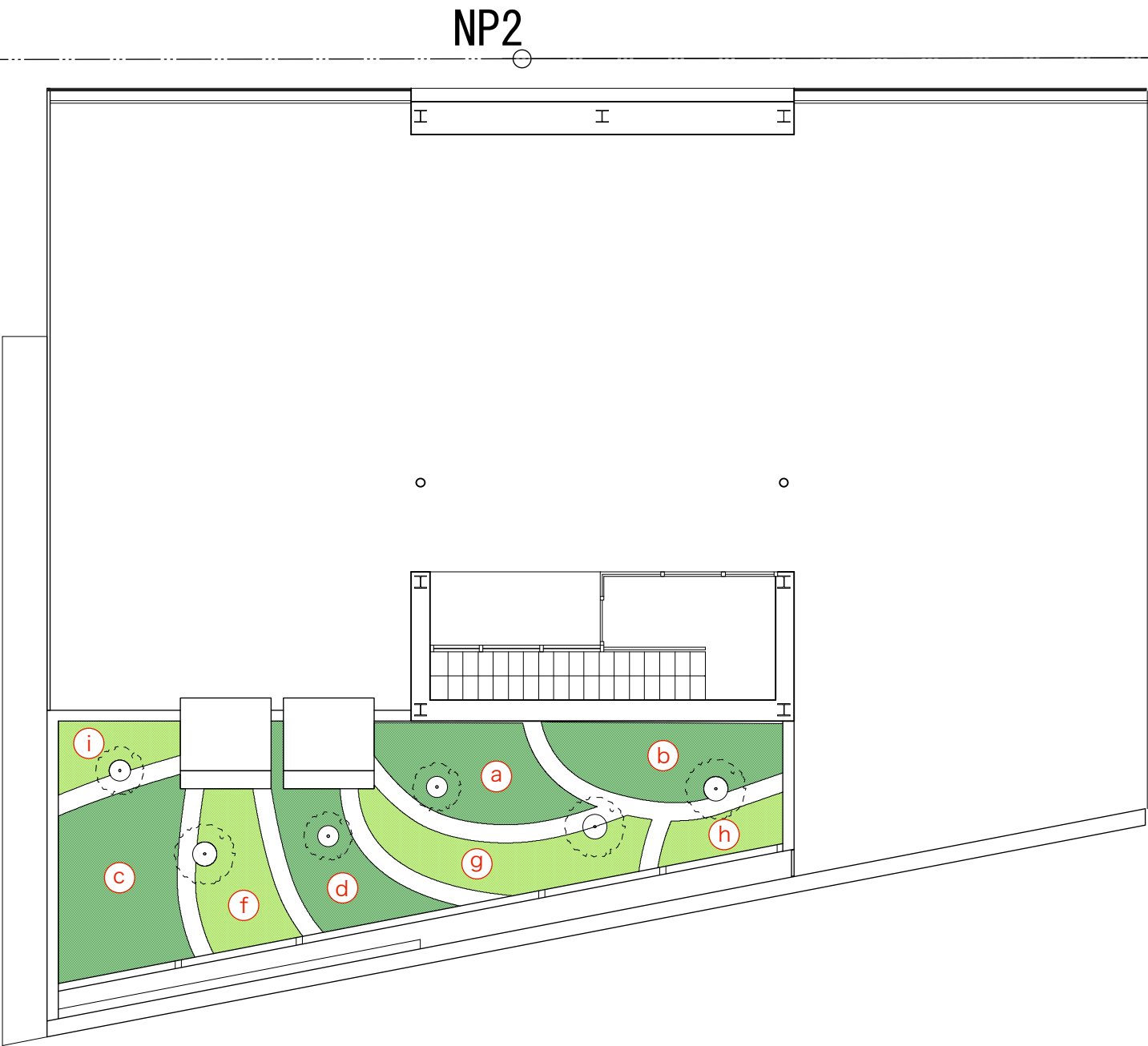
R階拡大平面図-6参照

- 低木植栽
- 地被植栽
- ツタ・ツル類（壁面緑化）

低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項  
R階平面図（東） S=1:300  
studio on site

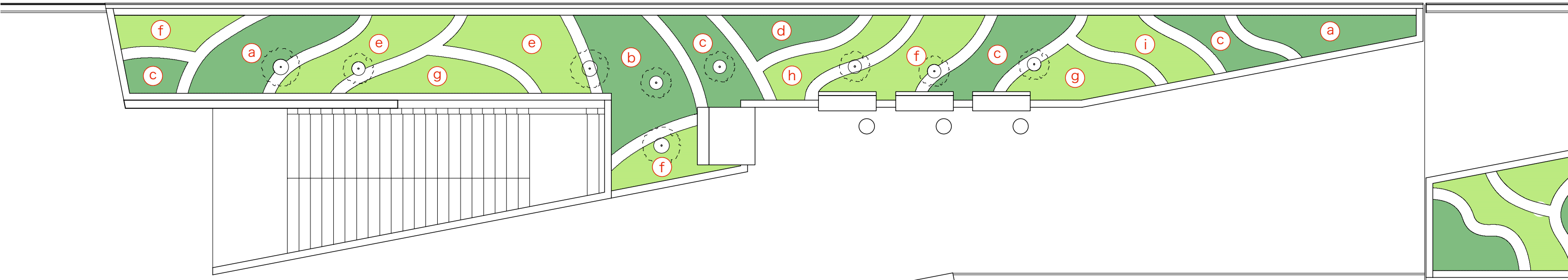
記号	樹種	剪定高さの目安
㊦	ナンテン	0.8m程度
㊧	ヤマツツジ	0.8m程度
㊨	コクチナシ	0.5m程度
㊩	ムラサキマユミ	0.5m程度
㊪	ヤブコウジ	生育に従う
㊫	シュンラン	生育に従う
㊬	ヤブラン	生育に従う
㊭	ミズヒキ	生育に従う
㊮	ユキノシタ	生育に従う
㊯	アマドコロ	生育に従う

- (※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う
- (※2) 適宜不要枝の除去等を行う
- (※3) きれいに開花させるように管理を行う
- (※4) パラペット等の防水留め金物やベンチ基礎が植栽で見えなくなるように管理を行う





# 道路境界



記号	樹種	剪定高さの目安
Ⓐ	ナンテン	0.8m程度
Ⓑ	ヤマツツジ	0.8m程度
Ⓒ	コクチナシ	0.5m程度
Ⓓ	ムラサキマユミ	0.5m程度
Ⓔ	ヤブコウジ	生育に従う
Ⓕ	シュンラン	生育に従う
Ⓖ	ヤブラン	生育に従う
Ⓗ	ミズヒキ	生育に従う
Ⓘ	ユキノシタ	生育に従う
Ⓙ	アマドコロ	生育に従う

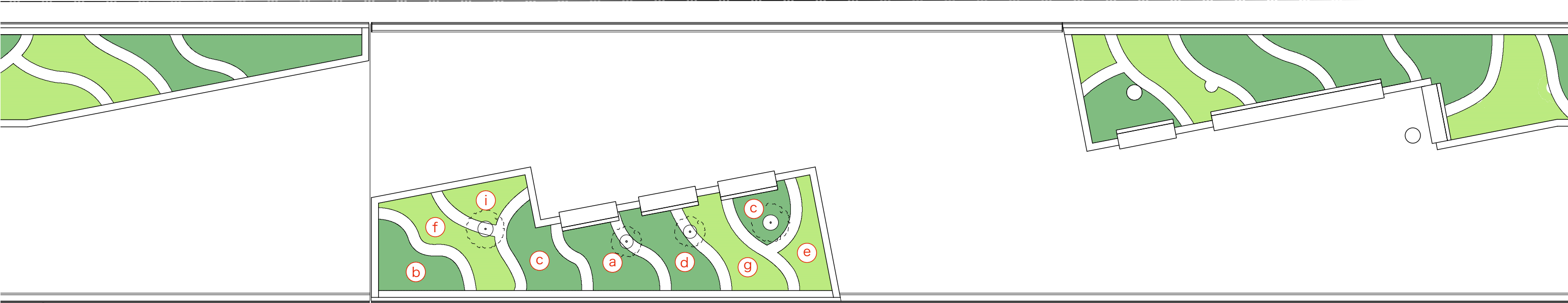
(※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う

(※2) 適宜不要枝の除去等を行う

(※3) きれいに開花させるように管理を行う

(※4) パラペット等の防水留め金物やベンチ基礎が植栽で見えなくなるように管理を行う

低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項  
R階拡大平面図-2 S=1:100  
studio on site

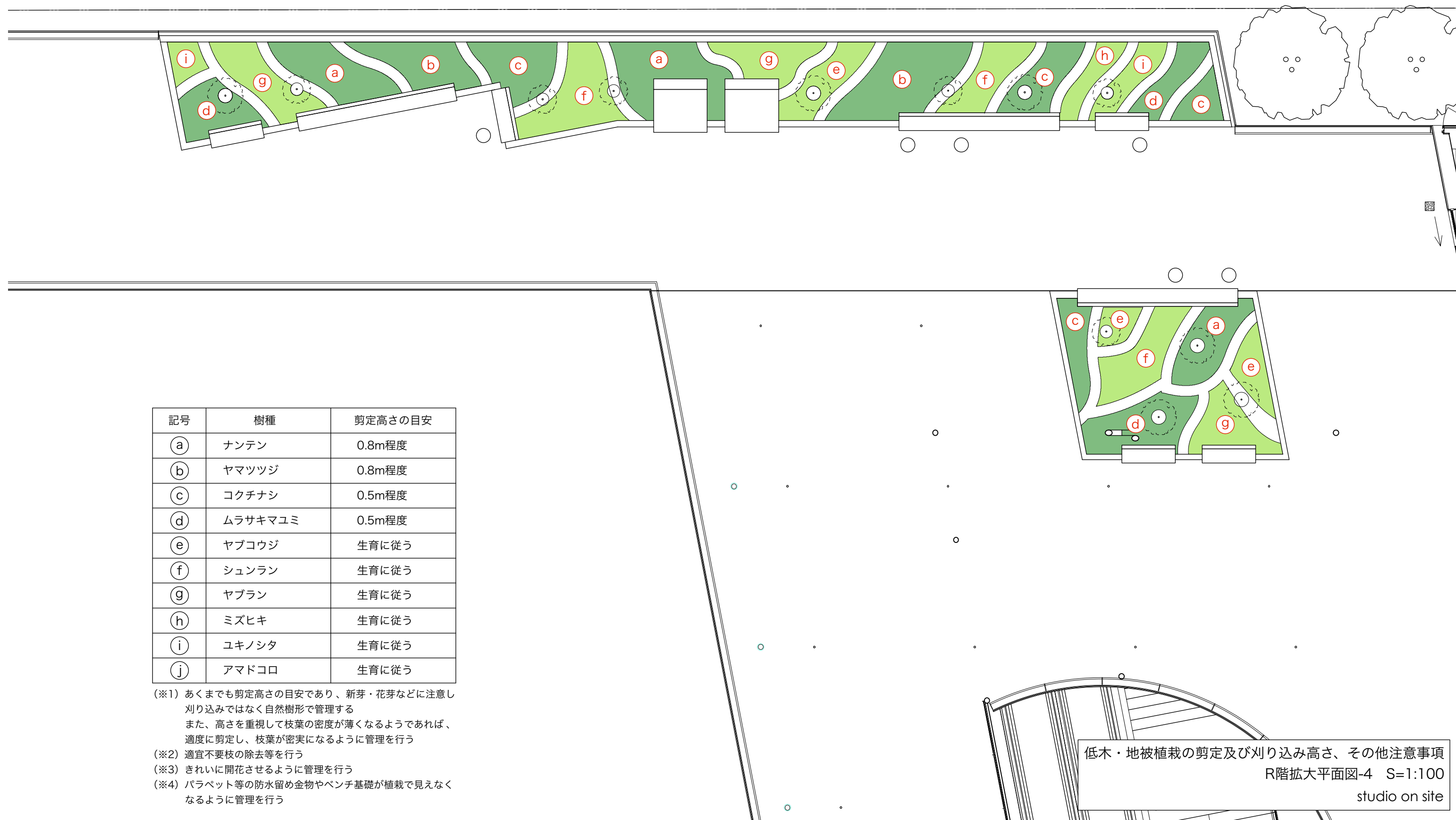


記号	樹種	剪定高さの目安
①	ナンテン	0.8m程度
②	ヤマツツジ	0.8m程度
③	コクチナシ	0.5m程度
④	ムラサキマユミ	0.5m程度
⑤	ヤブコウジ	生育に従う
⑥	シュンラン	生育に従う
⑦	ヤブラン	生育に従う
⑧	ミズヒキ	生育に従う
⑨	ユキノシタ	生育に従う
⑩	アマドコロ	生育に従う

- (※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う
- (※2) 適宜不要枝の除去等を行う
- (※3) きれいに開花させるように管理を行う
- (※4) パラペット等の防水留め金物やベンチ基礎が植栽で見えなくなるように管理を行う

記号	樹種	剪定高さの目安
①	ナンテン	0.8m程度
②	ヤマツツジ	0.8m程度
③	コクチナシ	0.5m程度
④	ムラサキマユミ	0.5m程度
⑤	ヤブコウジ	生育に従う
⑥	シュンラン	生育に従う
⑦	ヤブラン	生育に従う
⑧	ミズヒキ	生育に従う
⑨	ユキノシタ	生育に従う
⑩	アマドコロ	生育に従う

- (※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う
- (※2) 適宜不要枝の除去等を行う
- (※3) きれいに開花させるように管理を行う
- (※4) パラペット等の防水留め金物やベンチ基礎が植栽で見えなくなるように管理を行う

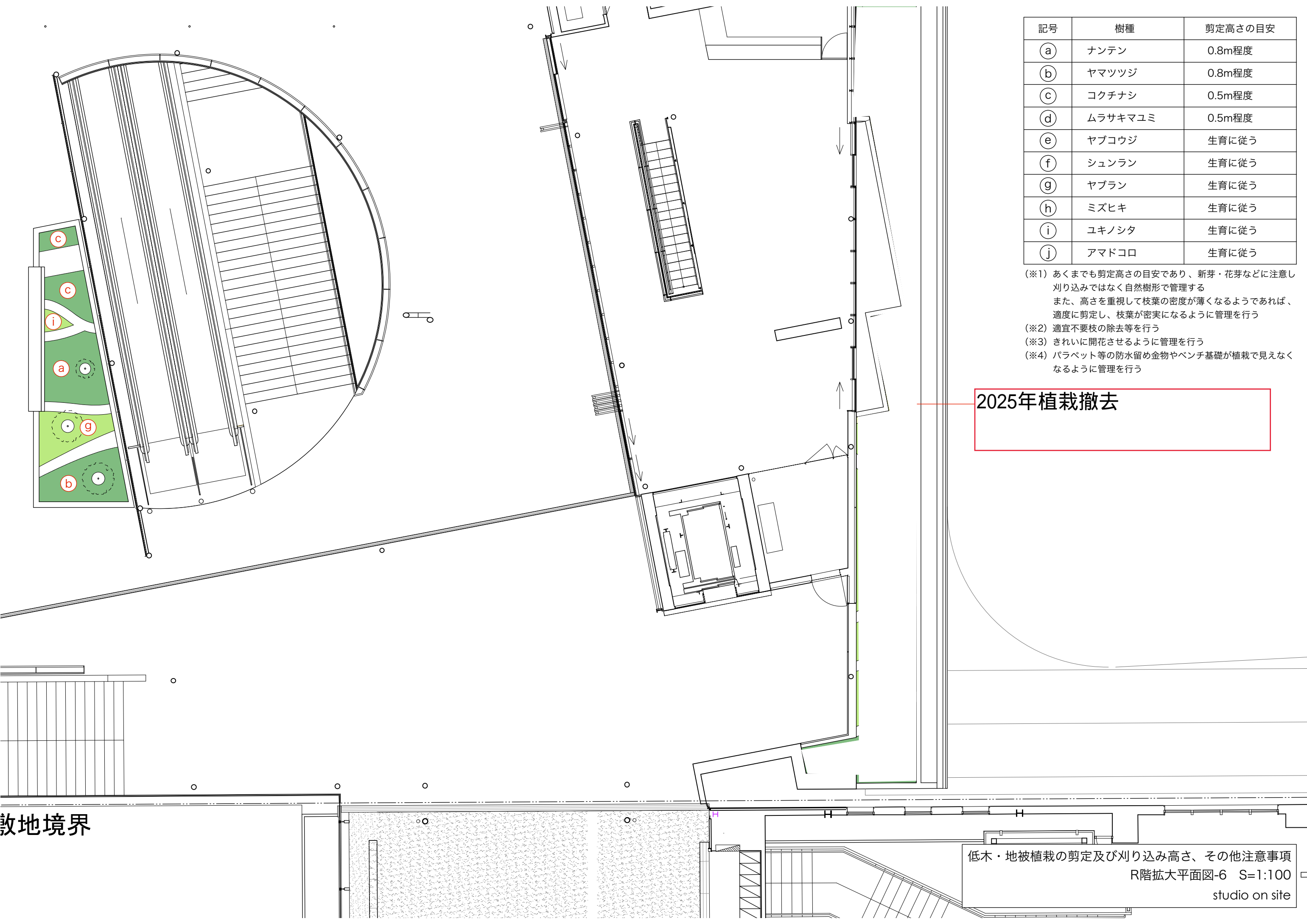






記号	樹種	剪定高さの目安
㊦	ナンテン	0.8m程度
㊧	ヤマツツジ	0.8m程度
㊨	コクチナシ	0.5m程度
㊩	ムラサキマユミ	0.5m程度
㊪	ヤブコウジ	生育に従う
㊫	シュンラン	生育に従う
㊬	ヤブラン	生育に従う
㊭	ミズヒキ	生育に従う
㊮	ユキノシタ	生育に従う
㊯	アマドコロ	生育に従う
㊰	イカリソウ	生育に従う

- (※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う
- (※2) 適宜不要枝の除去等を行う
- (※3) きれいに開花させるように管理を行う
- (※4) パラペット等の防水留め金物やベンチ基礎が植栽で見えなくなるように管理を行う



記号	樹種	剪定高さの目安
㊶	ナンテン	0.8m程度
㊷	ヤマツツジ	0.8m程度
㊸	コクチナシ	0.5m程度
㊹	ムラサキマユミ	0.5m程度
㊺	ヤブコウジ	生育に従う
㊻	シュンラン	生育に従う
㊼	ヤブラン	生育に従う
㊽	ミズヒキ	生育に従う
㊾	ユキノシタ	生育に従う
㊿	アマドコロ	生育に従う

- (※1) あくまでも剪定高さの目安であり、新芽・花芽などに注意し刈り込みではなく自然樹形で管理する  
また、高さを重視して枝葉の密度が薄くなるようであれば、適度に剪定し、枝葉が密実になるように管理を行う
- (※2) 適宜不要枝の除去等を行う
- (※3) きれいに開花させるように管理を行う
- (※4) パラペット等の防水留め金物やベンチ基礎が植栽で見えなくなるように管理を行う

2025年植栽撤去

敷地境界

低木・地被植栽の剪定及び刈り込み高さ、その他注意事項  
R階拡大平面図-6 S=1:100  
studio on site